

学校教育のための教育データ分析・利活用

募集期間	8月期 令和8年6月1日(月)～30日(火)		
講座概要	教育の情報化の急速な進展に伴い、学校現場では教育データの効果的な利活用が求められます。本講座では、学校教育のための教育データをもとにしたデータ分析・利活用の入門編としてデータ収集から整理、分析、活用までの基本的なスキルや考え方を体験的に学びます。コンピュータ操作に苦手意識がある方も丁寧に説明しますので一緒に頑張りましょう。(代表値、標準偏差、標準化、移動平均、相関、回帰分析、t検定など仮説検定を学ぶ予定)		
目的	・データ収集から整理、分析、活用までの基本的なスキルや考え方を身に付ける		
講師	若杉 祥太、納庄 聰	所属	理数情報教育系 次世代教育部門
受講対象	教員向け(教員、教員志望者、大学生)		
受講料	3300円	定員	40名
実施方法	対面 (全1回)	開催方法	天王寺キャンパス
注意事項			
持参物			
備考			

回	日程	時間	内 容
1	8月1日(土)	10:00 ~ 16:00	データ分析と教育データの利活用・様々なデータと求められるスキル 教育データ分析基礎① 教育データ分析基礎② 教育データ分析応用① 教育データ分析応用②

～講師プロフィール～

若杉 祥太 (理数情報教育系 次世代教育部門)

博士(学術) 日本教育情報学会副会長

専門は、情報教育・教育方法・FD(教師教育)・IR(経営・教学改善)。大阪教育大学にて教育方法や教材開発・教育データ分析を中心に指導、教科書や専門書の執筆多数